【議案第１号】

令和２年度ＮＰＯ法人北海道遺産協議会事業報告

（１）人材育成

◆「地域連携事業」

〇北海道ヘリテージラボ

１）ヘリテージラボ・オンライン

2018 年度から北海道遺産関係者の学び合いの場として開催している「ヘリテージラボ」を 2020 年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて zoom（オンライン会議システム）を活用した「ヘリテージラボ・オンライン」として計 4 回開催した。

＜第 0 回＞

実施日時：2020 年 8 月 20 日（木）19：00～20：00

テーマ：北海道遺産各地の現状や今後の見通しについて

内　容：各地域の北海道遺産の担い手の皆さんと各地の現状や今度についての情報交換を行った。

ゲスト：三松靖志さん（昭和新山国際雪合戦実行委員会事務局長）
佐藤政直さん（一般社団法人美唄青年会議所シニア）
水山淳史さん（任意団体森移住計画）

参加人数：約 15 名

＜第 1 回＞

実施日時：2021 年 3 月 8 日（月）18：00～19：30

テーマ：室蘭・札幌“兄弟”建物をとおして語る歴史的建物を生かしたまちづくり

内　容：北海道遺産「開拓使時代の洋風建築」の一つである旧永山武四郎邸を会場に室蘭と映像をつないで、歴史的建物を生かしたまちづくりについてトークを行った。（日本都市計画学会北海道支部 FGPJ 共催）

ゲスト：仲嶋憲一さん（一般社団法人室蘭観光協会　事務局長）
柴田寿治さん（一般社団法人さっぽろ下町づくり社　代表理事）
進行：酒井裕司さん（NPO 法人炭鉱の記憶推進事業団　常務理事）

参加人数：約 40 名

＜第 2 回、第 3 回＞

実施日時：2021 年 3 月 13 日（土）14：00～15：30、19 日（金）19：00～20：30

テーマ：北前船と日本遺産・北海道遺産

内　容：4 つの自治体の担当者から各地域に残る北前船の遺産についてご紹介いただき、全国各地の参加者からの質疑応答などを交えながら今後の保存活用のあり方等についての意見交換を行った。（協力：北海道、北前船交流拡大機構）

ゲスト：パート 1「北海道にのこる北前船遺産（松前・利尻編）」
佐藤雄生さん（松前町教育委員会 学芸員）
山谷文人さん（利尻富士町教育委員会次長補佐 学芸員）
パート 2「北前船による北陸と北海道のつながり」

稲吉昭彦さん（南越前町観光まちづくり課 学芸員）
武藤真由さん（加賀市観光推進部文化振興課 学芸員）
コーディネーター　高野宏康さん（小樽商科大学）
参加人数：ともに約 70 名

２）スタンプラリーを活用した担い手連携モデル事業

2018 年度から担い手連携モデル事業として札幌市内の北海道遺産関連施設をつなぐスタンプラリーを実施している。2020 年度は新型コロナウィルス感染拡大防止の観点から、ラリーの実施は見送ったが、オンライン会議システムを活用して、関係者の皆様にお集まりいただき、2019 年度の実施報告会を行った。報告会では、2021 年度のスタンプラリー企画の検討を進めることや、スタンプラリー以外でも普段の活動で連携していくことが話し合われた。

＜2019 年度実施報告会＞

実施日時：　2020 年 7 月 7 日（火）17：00～19：00
実施方法：オンライン会議システム Zoom
会場１：北海道遺産協議会事務局会議室会場
会場２：旧永山武四郎邸及び旧三菱鉱業寮２階和室Ａ会場
参加人数：　参加施設担当者 12 名

（２）遺産の価値向上・発信

◆「第４回選定検討ワーキング会議の実施」（11 月～3 月）

次回の選定について、選定方法の再点検、次回選定時期、選定委員候補などについて議

論するための検討ワーキング会議を実施した。11 月～3 月に計４回実施。
北海道遺産である地域遺産の価値について改めて分析を行い、評価方法、選定のあり方、多くの人々に価値を知っていただき選定の意義をより感じられる選定のタイミングや周知の方法、などについて議論を行った。議論には東京大学、札幌国際大学、北海道教育大学函館校、北海道大学大学院の学生にも参加していただき、過去選定資料の分析、検討材料の資料作成、アイディア出しなど協力をしていただいた。
2021 年度 5 月理事会に提言を提出。

実施日時：
第 1 回　2020 年 11 月 17 日　参加者：理事 3 名、事務局 1 名
第 2 回　2020 年 12 月 22 日　参加者：理事 4 名、学生 1 名、事務局 1 名
第 3 回　2021 年 3 月 9 日　参加者：理事 4 名、学生 4 名、事務局 1 名
第 4 回　2021 年 3 月 23 日　参加者：理事 4 名、学生 3 名、事務局 1 名

◆「北海道ヘリテージウィーク 2020 の開催」（10 月 31 日～11 月 1 日）

札幌駅前通地下歩行空間（憩いの広場（東側））を会場に「北海道ヘリテージウィーク 2020」を開催した。会場では、北海道遺産 67 件パネル展示、令和元年度助成活動紹介パネル展示を行った。

・実施期間：（地下歩行空間）10/31（土）～11/1（日）

◆「北海道遺産 SNS キャンペーン」（7 月～9 月）※兼「Ⅰ．人材育成」

新型コロナ禍で地域へ足を運ぶことができない状況の中、各地の北海道遺産や地域資産にそれぞれの場所から想いを馳せ、魅力を発信する取組として、SNS の『Instagram』を活用して、北海道遺産の写真をはじめとする、次世代に伝えていきたい北海道の宝物と感じるものの写真に、「#北海道の宝物」「#北海道遺産」のハッシュタグを付けて投稿していただくキャンペーンを実施した。期間中、合計 160 枚を超える写真の投稿があり、投稿者 33 名にプレゼントを進呈した。プレゼントは遺産地域に呼び掛けを行い、北海道遺産地域の産品や施設入場券などを活用させていただくことができた。

＜伝えたい「北海道の宝物」Instagram キャンペーン＞

実施期間：　2020 年 7 月 17 日～9 月 30 日

キャンペーンワード投稿写真：163 件

キャンペーンワード投稿者：33 名

プレゼント内容：

ナチュラルチーズ「鶴居」鶴居チーズセット、雪合戦日本代表モデル T シャツ、豊平館招待券、北海道開拓の村・北海道博物館共通招待券、江別市セラミックアートセンター常設展示室・無料観覧、北海幹線用水路のコメ、三笠ジオグッズ詰め合わせ、ばいえいグッズ詰め合わせ

◆「Bunkazai Design Contest 2020 の実施」（7 月～2 月）

札幌市の文化財に関する取組と、北海道遺産がこれまで行ってきた地域資産によるまちづくりへの支援の取組を協働で実施する事業として、「Bunkazai Design Contest 2020」を実施した。文化財をもっと広く市民や観光客に愛される宝ものとしていくことを目的とし、新しい視点から文化財の魅力や価値を伝えるデザイン表現を募集。３つのグッズに展開するデザインを募集し入賞作品をグッズ化した。北海道遺産協議会で製作するトートバッグは、令和 3 年度予算で、会員特典やイベントの抽選プレゼント用として製作し配布する予定。

＜Bunkazai Design Contest 2020～札幌の歴史文化を暮らしのグッズに～＞

募集期間：　2020 年 11 月 2 日～2021 年 1 月 5 日

<u>審査員：</u>

伊藤千織（伊藤千織デザイン事務所/プロダクトデザイン）

照井康穂（株式会社照井康穂建築設計事務所/建築）

平塚智恵美（有限会社叶多プランニング/商品化、アートマネジメント）

野村ソウ（スタジオワンダー/グラフィックデザイン）

酒井秀治（株式会社 SS 計画/まちづくり、コミュニティデザイン）

田中敦士（札幌市市民文化局文化部文化財課）
萩　佑（NPO 法人北海道遺産協議会）

応募総数・入賞作：

【トートバッグ部門】

応募総数：34 作品　入選作品：7 作品

★入賞作品　2 作品★

小 久 保　友 梨 香 「 Sapporo　Bunkazai Illustration Totebag」

北村 友莉「Geometric Hokkaido」

【コースター部門】

応募総数：13 作品　入選作品：6 作品

★入賞作品　2 作品★

吉田 未玲「サッポロノスタルジー」

小林 龍―「Sapporo Clock Tower」

【缶バッジ部門】

応募総数：10 作品　入選作品：5 作品

★入賞作品　2 作品★

早川 絢子「雪降る石」

鄭 太景「Hokkaido Heritage MOERENUMA PARK」

授賞式およびグッズお披露目会

日にち：　2021 年２月 23 日（火・祝）

会　場：　札幌駅前通地下広場（チカホ北３条交差点広場西側）

「さっぽろれきぶんフェス 2021」（主催：札幌市歴史文化のまちづくり推進協議会）

会場内にて実施

◆「Web 等での情報発信と管理運営」（通年）

北海道遺産関連のイベント・トピック等の情報を公式ウェブサイト、twitter（フォロワー4,154 名）、Facebook ページ（フォロワー4,125 名）で発信した。

＜北海道遺産 facebook ページリーチ（記事閲覧）数　上位記事＞

▲7/31 投稿「北海道遺産松前城と寺町」（リーチ数：2730）

◀ 11/2 投稿「『Bunkazai Design Contest 2020』募集開始」（リーチ数：2395）

◆「会員特典の制作」（6 月）

継続して制作しているポストカードセットを制作し会員に配布した。

◆「イベントへの参加・展示ＰＲ」（随時）

◇「北海道遺産展」（常設：札幌市・中央バス札幌ターミナル 2 階）

北海道中央バス株式会社・株式会社シィービーツアーズのご協力をいただきターミナル 2 階の 1 室において展示ブースを設営。北海道遺産 67 件のパネル展示。

◇「北海道遺産パネル展」開催

（8/17～8/18：札幌市・北海道庁 1 階特設展示場Ｂ）

道庁ロビーにて北海道遺産のパネル展示を実施。「北海道遺産フォトコンテスト 2019」の入選作品を中心に展示。ほっかいどう遺産 WAON・伊藤園「お茶で北海道を美しく」キャンペーンの R01 年度助成金活動パネル展示も行った。

「北海道遺産パネル展」(8/17～8/18) 北海道庁１階特設展示場Ｂ

◇「2020 年度北海道フェア」ブース出展
（9/30～10/4：埼玉県越谷市・イオンレイクタウン mori）
埼玉県越谷市のイオンレイクタウン mori での 2020 年度北海道フェア（秋）にて、北海道遺産パネルを展示した。北海道遺産に関する来場者クイズを実施し、回答者には北海道遺産ハガキなどを提供した。

◆「その他のＰＲ活動」(随時)
◇新聞・雑誌・定期刊行物などへの掲載
・『医師協メール（～2021 年１月)』『2020 年版 HOKKAIDO MAP 179 北海道市町村区域図』(NPO 法人日本自治アカデミー)

『医師協メール』

◇リーフレット・情報誌などの設置・配布
中央バス札幌ターミナル２階の北海道遺産パネル展会場などでパンフレットの設置・配布をいただいた。

◇企業・団体などによる北海道遺産の活用・紹介及び北海道遺産ロゴマークの活用
・札幌市内中学校２校で、中学一年生総合学習のテーマとして北海道遺産を取り上げ

た授業が実施され資料提供などの協力を行った。その内、1 校については、学校からの依頼で、遺産協議会役員・事務局が映像収録に参加して解説をし、ビデオ講座として生徒さんらにみていただいた。

・下記書籍等の表紙・本文に北海道遺産の概要や写真等が活用された。

『CONSTRUCTION'S EYES』（株式会社札幌メディア総合研究所発行）

『小学校社会科副読本 3・4 年生　さるふつ』（猿払村教育委員会発行）

『Up&Coming』（株式会社フォーラムエイト発行）

『北海道のトリセツ』（昭文社発行）

◆「ニュースレターの発行」（年 1 回）

手づくりのニュースレター「北海道遺産だより」を発行。協議会の活動情報、地域の行事情報など。正会員・賛助会員・関係者等に送付した。

＜北海道遺産だより vol.25＞

◆「北海道遺産グッズ」の販売（通年）

（3）支援のしくみの構築

◆「ほっかいどう WAON 助成活動」支援（6 月～）※兼「Ⅰ．人材育成」

今年度も、2019 年度ほっかいどう遺産 WAON 寄附金を活用し、遺産地域への活動助成を行った。13 団体に総額 450 万円の助成を行った。

◆「お茶で北海道を美しくキャンペーン助成活動」支援（6 月～）

今年度も、「株式会社伊藤園「お～いお茶　お茶で北海道を美しく。」キャンペーン寄附金を活用し、特に遺産地域の自然や景観の保全活用に関する活動への助成を行った。3 団体に総額 90 万円の助成を行った。

（4）その他事業について

◆理事会・総会の開催

今年度は新型コロナ禍での理事会、総会の運営となり書面開催で行った。

○第 1 回理事会

◇日時　令和２年 5 月 25 日（月）　13：00～14：00

◇会場　北海道遺産協議会事務局

◇内容　令和元年度事業報告、収支決算及び監査報告、役員の交代について（案）、
令和２年度事業計画（案）、及び収支予算（案）

〇令和２年度　通常総会

◇日時　令和２年６月 29 日（月）　15：00～17：00

◇会場　北海道遺産協議会事務局

◇内容　令和元年度事業報告、収支決算及び監査報告、役員の交代について（案）、
令和２年度事業計画（案）、及び収支予算（案）

◆会員の募集

北海道遺産会員に対し引き続き継続をお願いした。

－令和２年度　正会員・賛助会員一覧－

◇市町村（39 会員）

標津町　／　下川町　／　様似町　／　音威子府村　／　増毛町　／　小清水町
弟子屈町　／　江差町　／　上富良野町　／　ニセコ町　／　黒松内町
士別市　／　伊達市　／　厚岸町　／　豊富町　／　鶴居村　／　別海町
中標津町　／　月形町　／　函館市　／　江別市　／　音更町　／　札幌市
稚内市　／　遠軽町　／　松前町　／　足寄町　／　標茶町　／　旭川市
倶知安町　／　積丹町　／　名寄市　／　帯広市　／　鹿部町　／　浜中町
三笠市　／　上士幌町　／　石狩市　／　京極町

◇団体・協会（36 会員）

夢里塾　／　むかわ町穂別博物館　／　NPO 法人炭鉱の記憶推進事業団
土の博物館土の館　／　公益財団法人網走監獄保存財団　／　NPO 法人ピアソン会
NPO 法人ひがし大雪アーチ橋友の会　／　一般財団法人北海道歴史文化財団
石狩川下覧櫂　／　一般財団法人道南歴史文化振興財団　／　砂川観光協会
NPO 法人天塩川を清流にする会　／　北海道和種馬保存協会　／　積丹観光協会
北海土地改良区　／　北の縄文道民会議　／　札幌村郷土記念館保存会
認定ＮＰＯ法人霧多布湿原ナショナルトラスト　／　一般社団法人石狩観光協会
NPO 法人北海道鉄道文化保存会　／　公益社団法人北海道アイヌ協会
北海道出版企画センター　／　北海道遺産ジンギスカン応援隊
特定非営利活動法人あしょろ観光協会　／　NPO 法人ダウン・ザ・テッシ
公益財団法人三浦綾子記念文化財団　／　十勝川温泉旅館協同組合
音更町十勝川温泉観光協会　／　昭和新山国際雪合戦実行委員会
一般社団法人余市観光協会　／　北海道農業協同組合中央会
札幌軟石ネットワーク　／　利尻しまじゅうエコミュージアム
公益社団法人北海道観光振興機構　／　日本中央競馬会札幌競馬場
苗穂駅周辺まちづくり協議会　／

◇企業・その他（12 会員）

医療法人社団宮﨑整形外科医院　／　株北海道新聞社　／　北海道中央バス㈱
㈱シィービーツアーズ　／　えびすけ㈱福吉カフェ旭橋本店（旭橋を語る会事務局）
サッポロビール㈱　／　日本清酒㈱　／　オホーツク・ガリンコタワー㈱
雪印メグミルク㈱　／　エムエスマンションマネージメントサービス㈱
北海道旅客鉄道㈱　／　福山醸造㈱

◇役員・個人（30 会員）